



長田区の木 はなみずき



発行：長田区医療介護サポートセンター
神戸市長田区松野通 1丁目2-1 長田区医師会内
TEL：641-5661 FAX：641-5662

今年1年大変お世話になりました。

1年を振り返ると新型コロナウイルス感染症の感染者増加、医療の逼迫、緊急事態宣言の発出など大変な1年でした。そのような大変な状況において、皆様には区民の皆様の為に、日々、ご尽力いただき誠にありがとうございました

来年は対面での交流が気兼ねなく行えることを願います。

来年もよろしくお願い申し上げます！！



令和3年4月～10月実施研修報告 (PART1)



5月11日実施 感染予防実務者研修会 (施設対象)

開催日：令和3年5月11日(火) 14:00～16:00

開催形式：ZOOMを使用したオンライン研修

講演1：「新型コロナウイルス感染症について」

講師：神戸市立医療センター西市民病院
新型コロナウイルス対策本部本部長
総合内科部長 小西 弘起 先生

講演2：「高齢者施設における感染対策について」

講師：神戸市立医療センター西市民病院
新型コロナウイルス対策本部副本部長
看護部主幹 感染管理認定看護師 俣木 陽子 氏

参加者：29名

共催：長田区医師会、長田保健センター、区内特養、長田区医療介護サポートセンター



【参加者アンケートより】

※講演1※

- 変異株やワクチンについてなど、最新の情報が聞けて勉強になった。
- わかりも含めて大変分かりやすいお話でした。データを示していただいたの話はとても納得できました。
- ワクチンの効果や副反応について参考になりました
- 基本に立ちかえて、感染対応をすることが重要と感じた。
特に、在宅部門でサービス再開時の参考にしたい。



※講演2※

- 感染対策として施設で出来ている対策が不十分な点もあり今後検討すべきことが分かった
- 手指消毒と換気が特に重要との事で再度確認できてよかったと思います。ありがとうございました。
- 動画を使った解説はわかりやすい。また、標準予防策が大事だということが改めてよくわかりました。
- 改めて基本的なことが大切であると再確認させられました。徹底して行きたいと思います。



今回は感染者数が増加していた時期だったので、演習は延期とし、講演のみの研修となりました。新型コロナウイルス感染症のウイルスの構造や変異株について、またワクチン接種や副反応について学びました。また、どのような感染対策が必要であるかについて動画交えてわかりやすく教えていただきました！！

講義内容は後日、区内特養にDVDにして送付しました。



6月17日実施 介護事業者等連携事業所周知研修会 台風などの水害に備えよう！～正しい知識を持ってコロナ禍での避難を考える～

開催日：令和3年6月17日（木）14：00～16：10

開催形式：ZOOMを使用したオンライン研修

講演：「風水害への備え」

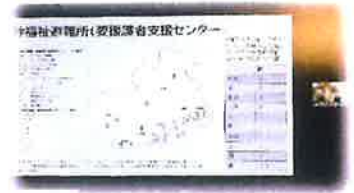
講師：神戸市危機管理室 防災気象官 赤松 光夫 氏

神戸市危機管理室 危機対応担当係長 高見 健治 氏

情報提供：長田区役所、長田警察署、長田消防署、要援護者支援センター、自立支援協議会等

参加者：59名

共催：長田区歯科医師会、長田区医師会、長田区薬剤師会、長田区役所、長田保健センター、
長田区医療介護サポ-トセンター、長田区災害時の医療・介護提供協議会



【参加者アンケートより】

※講演を聞いて※

- ・警戒レベルや避難情報の変更内容について理解できた。
- ・市民の方に分かりやすく表記を変えたり、日頃から備えるための具体的な内容が聞けてとても勉強になった。
- ・講演を聞くことで身近な事として感じることができ、自分自身の生活の中でも考えてみようと思った
- ・昨今、異常気象やその他の原因で、大雨や、予想を超える災害が多く、中には災害で命を落とす人もいます。災害は自分とは無縁の出来事のように思いがちですが、いつ何があっても対応できるように、災害に対する意識を高め、常に準備し備える事や警報等の情報収集等、必要時は早めに行動する事の大切さを学んだ。
- ・神戸市の地理的な状況と気候のことを初めて聞いたので、興味深かったです。
- ・長田は瀬戸内気候で温和なので、備えに対して認識が甘いところがあります。しっかりと意識することが必要だと感じました。

※情報提供～各関係機関における防災の取り組みや啓発事項～

- ・各職種でしっかり対策が取られている事が分かった。実際に災害が起こった場合の他職種の連携強化が課題だと思った
- ・障害者防災が知ることができ、参考になりました。



今回の研修会で神戸の地形や起こりやすい災害、線状降水帯や大雨等の気象に関すること、防災気象情報の入手方法などを学びました。また、令和3年に法改正された警戒レベル・避難情報ついてやコロナ禍における避難のタイミングとその方法について知ることができました。自分自身や大切な人の命を守るために、十分な備えをしていきましょう！

介護事業者等連携事業所登録って何??



災害時に長田区内の医療・介護施設や避難所等において、医師会・歯科医師会・薬剤師会と行政などと共に、災害時に援護が必要な方に医療や介護を連携して提供するため、長田区内の介護・福祉サービス提供事業所に登録いただき、平常時より、災害時の連携・連絡システムを構築していこうとするものです。ぜひご登録してください！（事業所登録の希望は長田区医療介護サポートセンターまで）
※平常時より三師会・行政・介護事業者とのネットワークづくりを行っていきます。研修会の実施や災害の備えなど必要な情報をメールで情報発信しています。



6月24日実施 ながサポクラブ 長田区多職種連携について考えよう!

開催日：令和3年6月24日（木）14:00～16:30

講演：「地域包括ケアがコロナ対策の土台である」

講師：医療法人社団裕和会 理事長

長尾クリニック 院長 長尾 和宏 先生

参加者：77名

共催：長田区医師会 長田区役所、長田区内あんしんすこやかセンター、長田区医療介護サポートセンター



【参加者アンケートより】

- ・利用者にはコロナうつになっている方が多く、対応に困ることがあります。せめて体力が低下しないよう歩くことをすすめようと思います。
- ・長尾先生の講演はとっても良かったです。とても勇気もらいました。私も現場で頑張ります。
- ・貴重なワードをメモしきれなかったので、パワーポイントの資料があればよかった。おもしろいし、ためになりました。



コロナ禍での発熱外来や在宅診療を中心にお話をしてくださいました。ステイホームによって歩くことが減っているが、歩くことが大事。家の中などを歩くように話しているとのことでした。質問の中で、コロナによりフレイルの進行について聞かれていました。長尾先生からはPTの出番。どんどん動いていかないとおっしゃられていました。地域での集いの場も減り、外出も以前と比べて減っているので、自宅でできるサンテレビの「元気!いきいき!体操」なども活用しながら動く機会を作っていく必要がありますね。



7月1日実施 ながサポクラブ コロナ禍におけるメンタルヘルス

開催日：令和3年7月1日（木）14:00～16:00

開催場所：ふたば学舎2階 多目的室2-A

講演：「コロナ禍におけるメンタルヘルスについて」～神戸いのち大切プラン～

講師：神戸市健康局 保健所 精神保健福祉センター 担当係長 上中 美和 氏

参加者：44名

共催：長田区医師会 長田区役所、長田区内あんしんすこやかセンター、長田区医療介護サポートセンター

【参加者アンケートより】

- ・うつ病の疾患を持っている利用者家族はいます。病気を知るうえで参考になりました。
- ・サポート手帳で自殺に傾いた人の支援の具体的方法が書かれていたので、今後活かせると思います。
- ・ご利用者様には、自分の疾患や障がいを受け入れられず、落ち込みや生活リズムが狂ってしまったり多くのリスクを抱えておられるなと思いました。オキシトシンを出してもらえるように考えていこうと思いました。
- ・事務所内で共有するために、今回の講義の資料があればよりよいと思った。良い内容だけにスタッフに伝えられないのが残念です
- ・交通事故よりも自殺者が多いことはとてもショックです。少しでも自殺者が減るように、ゲートキーパーになれるように努力します。

感染者が増加したこともあり、一度延期をしましたが、無事対面で研修会を実施することができました。コロナ禍で様々な制限がある状態の中、利用者だけでなく、支援者のメンタルも大切になっています。今回の講義では支援者のメンタルも含めてもお話いただきました。



次のページでは新しく長田区に設置されました障害者地域生活拠点について紹介します!!



長田区障害者地域生活支援拠点（しんながた障害者相談支援センター） みらいおもいけ園

神戸市が平成30年度より各区に1か所の設置を進めてきた事業です。

長田区では、令和3年2月1日、最後の拠点センターとして開設されました。（全区設置完了）

障害者地域生活支援拠点の役割

障がい者の重度化・高齢化や「親なき後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、親元から独立した障がい者が地域生活を安定的に維持できるよう、公的サービスや地域の支え合いなど、さまざまな社会資源との連携を図りながら、支援を行います。

主な実施事業の紹介

1. 相談支援、地域の体制づくり

神戸市の委託相談支援事業を受託し、障がい者の地域生活に関する相談支援や障害福祉サービスの利用に関する委託調査等を行います。

2. 見守り支援事業

神戸市見守り台帳を元に、重度障がい者でサービス利用のない方を対象に、自宅を訪問し、生活状況をお伺いし、必要な社会資源やサービスにつなげます。

3. 緊急時の受け入れ（短期入所）

自宅で障がい者を介護していた家族などが、急病等により一時的に介護を行うのが難しくなった際に、短期入所事業を活用した緊急受入を実施します。

（緊急対応用のベッドを1床確保する）

4. 日中活動の体験の機会・場の提供

生活介護事業を活用し、日中活動の体験や、居場所・活動場所を探している人へその機会・場を提供します。

5. 災害時要援護者支援

見守り支援対象者への避難意思の確認等の支援や、基幹福祉避難所と連携した要援護障がい者の避難受入などについて、現在、神戸市と支援体制の構築に向け協議、準備中です。

長田区障害者地域生活支援拠点の組織体制

しんながた障害者相談支援センターとみらいおもいけ園の2施設が協力し、長田区地域生活支援拠点としての役割を担います。



私たちが
支援します！

障害福祉の課題やお悩みについて
いつでもご相談ください！
適切なサービスや資源におつながります！



障害者地域生活支援拠点事業へのお問合せ

しんながた障害者相談支援センター

所在地 長田区若松町4丁目 2-15
ピフレ新長田2階

窓口開設時間 平日：9:00～19:00
土日祝：9:00～17:00
※12/29～1/3は窓口休業日

連絡先 TEL：078-611-8860
FAX：078-611-8861



8月2日実施 感染予防実務者研修会（施設対象）演習

開催日：令和3年8月2日（月）14：00～16：00

開催場所：長田区役所 6階 多目的室

演習：「PPE等の感染予防実習」

講師：神戸市立医療センター西市民病院

新型コロナウイルス対策本部副本部長

看護部主幹 感染管理認定看護師

俣木 陽子 氏

看護部主査

黒田 普美子 氏



参加者：16名

共催：長田区医師会、長田保健センター、区内特養、長田区医療介護ホムトセクター

【参加者アンケートより】

※PPEの着脱実習について感じたこと※

- ・知識は自分ではそれなりにあるとは思っていたが、抜けている部分はあった。再確認してよかった。
- ・ガウンを脱いだ後のリセットとしてアルコールが大事な事だと感じました。ウイルスが色々なところに付着すると思いました。
- ・ブラックライトを使用して目で確認できたことで、気をつけなければならないことを知れてよかった。
- ・手袋の上からの手指消毒はしていなかった。1つはすすごとに手指消毒することが大事だとわかった。首から上の外し方についてはより注意が必要だと思いました。
- ・ぜひ自施設でも手洗いチェッカーを用いたPPE着脱実習を実施してみたいと思います。
- ・脱ぐ時、1行為ずつ消毒することが大切だと学べた。ガウンを着る時、切込みを入れて親指を出せば、手首の隙間が空かずに手袋を着けることは初めてで知れた。
- ・手指消毒の回数の多さに驚きました。



※手洗いの実習について感じたこと※

- ・しっかりと洗えているつもりだったけど、かなりの洗い残しがあった。
- ・手洗いが不十分なのは理解していたが、センサーチェックをして、そこまで汚かったんだというのがわかってショックでした。
- ・自分は洗えていると思っていても汚れが残っているため、指の間や手首まで日頃から行う様にすることが大切だと感じました。
- ・手洗いは当たり前前に大切と思っていましたが、実際やってみると全くでした。普段の手洗いはもっと雑になっているのだと思いました。



5月に感染拡大により延期になっていましたPPE着脱の演習を行うことができました。演習では不織布ガウンとビニルガウンの着脱を行い、また、手洗いチェッカーのローションをガウンに塗ったうえで脱衣を行い、脱衣後、ブラックライトで照らしました。その結果、自分の服に付着している場合もあり、ガウンの脱衣動作と1つの動作時の手指消毒の習慣など、日頃から練習をしておくことが必要だと学びました。

また、手洗いについてもできていると思っていても、実際には取れにくい部分の洗浄が十分できていないことについても学ぶことができました。

こちらのPPE着脱の動画を施設内研修に活用いただく為にDVDにし、区内特養と区内老健に配布しています。また、西市民病院のホームページでも公開していますので、一度ご覧ください。実習動画に関するご質問等はホムトセクターまでお願いします。





8月18日実施 他地域との多職種交流会

開催日：令和3年8月18日（木）15：00～16：30

開催形式：ZOOMを使用したオンライン交流会

テーマ：コロナ禍における認知症に関する各地域の課題と対応策について

講師：神戸市立医療センター西市民病院 脳神経内科部長 木原 武士 先生
（神戸市認知症疾患医療センターセンター長）



<他地域の参加者> ※今回は京都府の方々と交流しました

京都府宇治市 京都認知症総合センター 通所介護担当者・認知症カフェ担当者

認知症初期集中支援事業 山科区 チーム員、京都市山科区役所 保健センター 健康長寿推進課

参加者：23名

今回は初めての試みで、西市民病院 木原先生からお声かけしていただき、京都府の方々との多職種交流会が実現しました！ オンラインならではの交流会ではないかと思えます。

通所介護では新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した際の苦労や備えをどうしていくべきかの情報交換、また、コロナ禍における地域の集いの場がないことの課題に関する話。音楽療法の個別支援やオンラインでの家族会などの実施をされているということでした。家族の方へのZOOMの使用については、個々にレクチャーされたそうです。

集いの場はないということは共通した課題だと感じましたが、集いの場ができないというネガティブな考え方がちですが、どう工夫すればできるかというポジティブな視点で物事を考えていくということを交流の中で学びました。



10月21日実施 認知症多職種連携研究会

開催日：令和3年10月21日（木）15：30～16：30

開催形式：ZOOMを使用したオンライン研修

講演1：「地域のつどいの場について」

講師：池田宮川あんしんすこやかセンター 地域支え合い推進員 植野 礼子 氏

講演2：「認知症患者さんとの音楽療法セッションを通しての歩み」

講師：日本音楽療法学会認定音楽療法士 兵庫県音楽療法士 佃 誉子 氏

参加者：70名

共催：長田区医師会、長田区歯科医師会、長田区薬剤師会、長田区医療介護拠点センター



【参加者アンケートより】

※講演1※

- ・コロナ禍でも地域住民・参加者のモチベーションを上げる工夫を実際に知れて良かった
- ・コロナ禍でも地域の中での声を聞き、できる方法で「つどいの場」作りをされてきた様子がよくわかりました。
- ・地域活動の取り組みや工夫をお聞きできる貴重な機会となりました。ボランティアさんの自発的な取り組みを、あんしんすこやかセンターがサポートする体制が整っていたことで、コロナ禍でも、活動が続けられていると感じました。非常災害に備え、日頃から地域との交流、自発的な取り組みの重要性を学びました。

※講演2※

- ・「おんがくの りょうほう」、目から鱗でした。療法→利用方法、いろんな場面で視点を広げていければと考えます。集団活動・個別活動の工夫を学ぶことができました。有難うございます。
- ・音楽療法を行うことで、作業療法や理学療法につなげていくことができる、また寝たきりの方でも参加でき、心を動かすことができれば身体も動くというのが、もっとも行いやすい方法であることがあらためて理解できました。



8月の交流会で集いの場をできるための工夫を行っている事例についてお話いただき、参加者からもコロナ禍でできる工夫を参考に生かしていきたいという声もあり、地域の集い場の再開のきっかけになるといいなと思いました。音楽療法はその効果や利用法について、今回研修を通して、理解できたという声が多かったです。



<アンケートからの質問コーナー>



10月21日開催「長田区認知症多職種連携研究会」のアンケートで質問がありましたので、ながサポ通信でお答えしたいと思います。

【質問】

- ①音楽療法士の方に依頼をする際は、あんしんすこやかセンターに依頼をするのか。
- ②依頼した際の費用負担は、介護保険適応になるか、自費になるのか。

【回答】

- ①音楽療法士の方へのご依頼ですが、今回の講師である佃先生が一度体験をしていただいたらと言ってくさっています。もし、体験してみたいなどありましたら、佃先生にお繋ぎしますので、サポートセンターまでご連絡ください。
- ②依頼した際の費用は自費となります。現在、12月末までのお申込みで3月まで費用補助がある事業があります。
詳しくは「兵庫県音楽療法士会ホームページ」の中の「音楽療法普及・定着強化事業」のページをご参照ください。

<長田区医療介護サポートセンターよりお知らせ>

【今後の研修開催予定】

※ながサポクラブ・長田区ケアマネジャー連絡会（あんしんすこやかセンター共催）

日時：令和4年2月2日（水）14時～16時

場所：長田区役所6階 多目的室

講師：神戸大山訪問看護ステーション 看護師 寺崎 亜世子 氏

内容：腎臓疾患を抱えた利用者の支援について

※ながサポクラブ・長田区ケアマネジャー連絡会（あんしんすこやかセンター共催）

日時：令和4年3月17日（木）15時30分～17時

場所：長田区役所7階 大会議室

講師：神戸市立医療センター西市民病院 脳神経内科部長 木原 武士 先生
（神戸市認知症疾患医療センターセンター長）

内容：認知症のひとの意思決定支援について

多数のご参加をお待ちしております！！ご予約を空けておいてください！
もし、感染者が増加した場合には同じ日程でオンライン研修に切り替えて実施する予定です。



【編集後記】

すっかりコロナストレスによりコロナ太りで体重増加してしまったサポートセンターの二人ですが、コロナが終息したら、おいしいものを食べにいくことを目標にしているので、痩せれないかな・・・今年1年本当にありがとうございました！！来年もサポートセンターをよろしく願い申し上げます！！